

クリーンルーム年間業務計画案



- 医療の質を向上させ、清潔で安全で快適な療養環境を維持する為に、計画的に清潔エリアにおける年間業務計画を実施することが大切だと考えます。

参考例：日常・定期業務を計画的に！

作業実施 (月)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考欄
● 環境測定		●											測定項目選定
■ 清潔管理		■						■					全体清掃・消毒
◇ ワックス								◇					
▲ 各菌検査		▲						▲					必要に応じて
◆ 各フィルター類			◆ 現状確認後：各ご提案										HEPA・中性能 プレフィルター等

その他：EOG環境測定 年2回 水質検査：無菌手洗装置細菌検査・レジオネラ検査等

* 尚、室内HEPAフィルターにおいては数値測定を実施し、現状を把握してから必要であれば交換を提案する。

環境測定業務

◆ MAINTENANCE

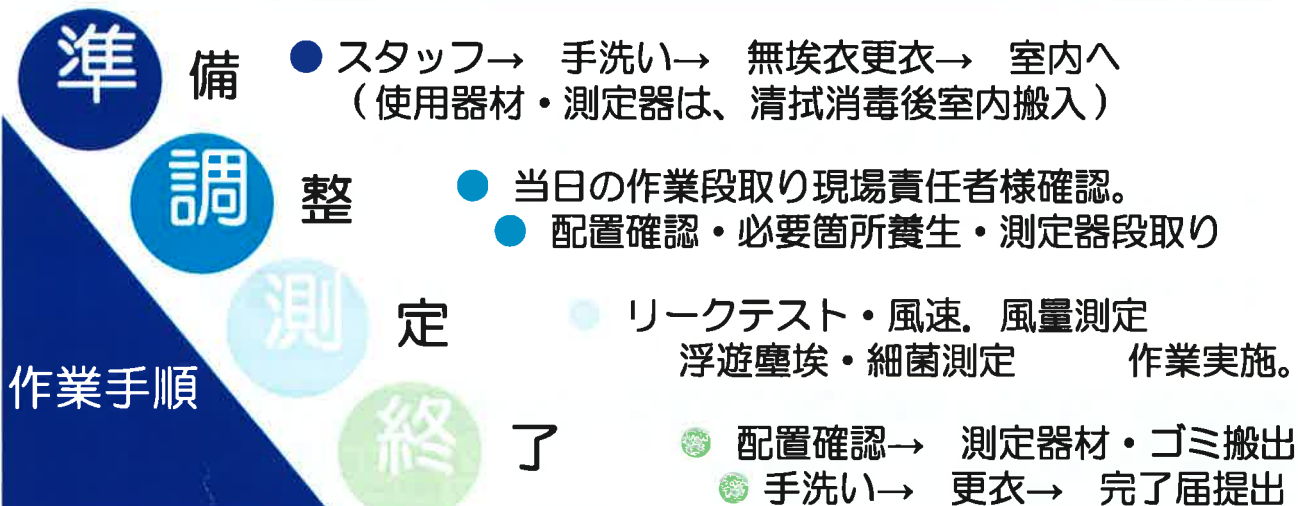


■ 運転保守体制 ■

- 設備・機器は、設置され使用を開始した時から損耗劣化が始まっているので、点検・保守によって運転に支障となる劣化又は、異常の兆候を**早期に発見**しその不良箇所を**的確に措置**し、運転時の**事故発生を防止**しなければならない。

■ 測定項目 ■

- リークテスト
- 風速・風量測定
- 浮遊塵埃測定
- 差圧測定
- 等その他



清潔管理業務 (消毒・ワックス)

◆ PERIODIC CLEANING



作業手順

準備

調整

消毒

ワックス

終了

- スタッフ→ 手洗い→ 無埃衣更衣→ 室内へ (使用器材は、清拭消毒後室内搬入)
- 当日の作業段取り現場責任者様確認。
- 配置確認・必要箇所養生・その他段取り
- 流れ 上～下へ 奥から手前に (室内全体清掃・清拭消毒)
- 洗浄→ 汚水回収→ 乾燥
- ワックス塗布→ 乾燥
- 配置確認→ 器材・ゴミ搬出
- 手洗い→ 更衣→ 完了届提出



■ 使用薬液：ディメンジョンⅢ
[第4級アンモニウム塩] EPA登録商品 等その他

■ EPA (米国環境保護局) 登録クリーナーとは？

- EPAに登録している洗剤とは、薬剤効果と安全性をクリアしたものです。床材やワックスを劣化させずに汚れを除去し、消毒も行う事ができるように設計されています。

■ 使用ワックス：ユーホーホスピタルコートカルシウム

- 抗菌効果がありアルコールに強くワックスが剥がれにくいものを使用する

院内における菌検査

◆ 菌検査

- 各室内設備・機器の表面、人体の表面などあらゆるものが付着の対象となります。付着した場所に適度な水分と栄養素が存在すれば菌はそこで増殖します。

◆ スタンプ培地上の 集落数は汚染菌数の絶対数を表すものではありません。また、ふきとり法のそれと一致しないこともあります。

■ 培地種類 ■



◆ 上記培地を選択して下さい。◆ 同定検査費は別途です。

■ 付着細菌検査採取ポイント ■

各指定箇所

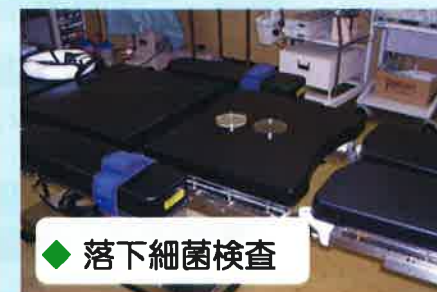
各部屋：3～4 ポイント (消毒前・後)



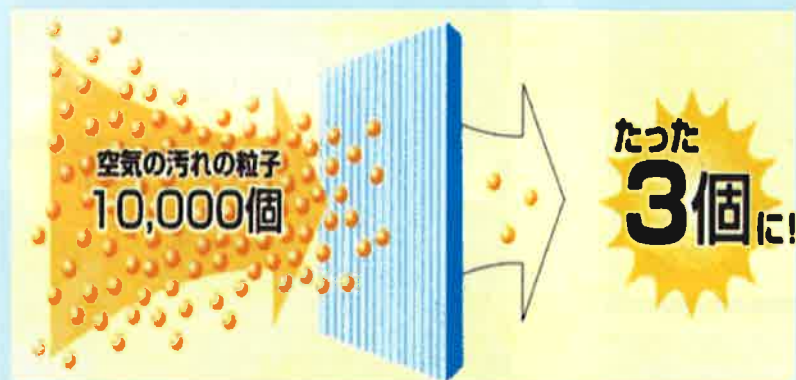
◆ その他菌検査 ◆



◆ 浮遊細菌検査



現状を把握した上でのメンテナンス（フィルター類）



◆ MAINTENANCE

■ HEPAフィルター ■

- 補修効率：0.3 μ のDOP（ダイオキシルフタレート）煙の粒子を99.97%補修する性能をもつ

管理されていない
HEPAフィル
ター



◆HEPAフィルター交換時期目安◆

メーカーでは通常、8000時間を目安にフィルター交換を推奨しています。

尚、その地域・病院により、外気条件や汚染状況が異なる為、余裕をみましても、目安としては、3年~5年が一般的な交換時期と言われております。

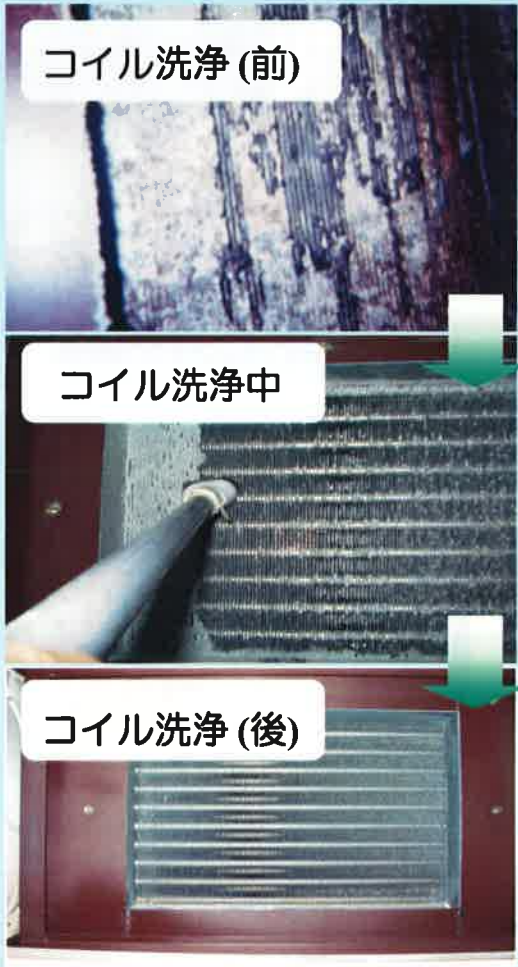
- HEPAフィルターを交換する以前に、数値測定による的確な現状を把握しておくことが、大切な事だと考えます。

◆ 比較写真 ◆



現状を把握した上でのメンテナンス (参考：例)

■ コイル洗浄 ■



■ ダクト清掃 ■



■ 吸込口清掃 ■

